Central Weekly Market Report

NO. 1014

2020年10月23日
セントラル短資株式会社　総合企画部

今週（10月19日から10月23日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週の無担保コールO/N物は積みの序盤ながら、依然として調達ニーズは強い状態であった。週明け19日は先週末と横ばいの▲0.05～▲0.01%の出合いが中心で、加重平均レートは▲0.031%となった。20日以降は都銀業態を中心に取り上がる動きが見られ、加重平均レートは徐々に上昇した。週末の23日は3日積みの要因から全般的にさらに取り上がりの展開となり、▲0.01%近辺の出合いが中心となった。ターム物は、新積み期に入ったことで、月内物を中心に出合いが複数見られた。日銀当座預金残高は、週前半から後半までは480兆円台の前半から半ばで推移した。週末23日は新型コロナオペによって増加し、480兆円台後半となった。

22日には、新型コロナ対応金融支援オペが6M物でオファーされ、27,560億円の貸付が行われた（期落ちは無し。ただし、期日前返済が18億円発生している）。同オペの残高は23日時点で477,580億円となる見込み。

●レポ市場

今週のGC O/N物は、週を通して安定的に推移した。出合い水準は概ね▲0.100～▲0.070%程度であった。

SC個別銘柄では2Y410～417、5Y136～145、10Y335～360、20Y167～174、30Y59～68、40Y9～13などのカレント近辺の銘柄にビッドが多くみられた。

●短国市場

今週の短国市場は入札が3回行われたこともあって、金利目線を探る展開となった。3M物は▲0.090%近辺出合いと横ばい圏で推移し、23日の入札が低調となった事を受けて▲0.080%近辺まで上昇した。6M物は22日の入札が低調となったことを受けて▲0.100%台での出合いと軟調な推移となった。1Y物は、19日の入札後も概ね▲0.140%前後で推移した。

19日に実施された1Y物の入札は、WI取引において▲0.135～▲0.125%での出合いが見られる中、平均落札利回▲0.1348%、按分落札利回▲0.1288%と、しっかりした結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは、▲0.144～▲0.139%出合いと堅調に推移した。

21日に実施された短国買入オペは、前回から5,000億円減額の20,000億円でオファーされた。平均落札利回較差+0.011%、按分落札利回較差+0.007%と、在庫の重さを反映して、やや弱めな結果となった。

22日に実施された6M物の入札は、WI取引において▲0.110～▲0.106%での出合いが見られる中、平均落札利回▲0.1002%、按分落札利回▲0.0982%と、軟調な結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは、▲0.100～▲0.099%出合いと、入札とほぼ同水準で推移した。

23日に実施された3M物の入札は、WI取引において▲0.082～▲0.080%での出合いが見られる中、平均落札利回▲0.0793%、按分落札利回▲0.0744%と、軟調な結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは▲0.083～▲0.080%出合いと、やや堅調に推移した。

●CP市場

今週のCP市場は、入札案件が少ないことに加え、数十億円から数百億円程度の発行量が中心であったことから、全体的に閑散としていた。大型の調達は、小売や重工業等の業態から実施されたものの、週間の発行総額は3,000億円程度にとどまった。償還額は2,000億円程度であった。市場残高は、週を通して24兆円弱での推移となった。9月末に大幅に減少した後、徐々に市場残高が増加してきたものの、ここにきて増加ペースが鈍化してきている。発行レートは、業者の玉確保の動きを中心に、マイナス圏で低位横ばいの推移が続いている。

●短期金融市場関連指標

	日経平均（円）	新発10年物国債利回り（%）	為替（ドル/円中心相場）	無担保コールO/N（加重平均･%）	東京レポレート(翌日物･T+1スタート･%)	日銀当座預金残高（億円）
10/19（月）	23,671.13	0.020	105.39	△ 0.031	△ 0.080	4,852,000
10/20（火）	23,567.04	0.020	105.57	△ 0.022	△ 0.080	4,833,900
10/21（水）	23,639.46	0.030	105.23	△ 0.019	△ 0.090	4,820,100
10/22（木）	23,474.27	0.030	104.67	△ 0.017	△ 0.091	4,855,700
10/23（金）	23,516.59	0.035	104.72	△ 0.012	△ 0.077	4,894,800

来週（10月26日から10月30日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
10/26（月）	9月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50) 8月の景気動向指数改訂状況(内閣府 14:00)				9月の米新築一戸建て販売件数
10/27（火）		2Y 30,000億円 11/2発行			8月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数 9月の米耐久財新規受注 10月の米CB消費者信頼感指数
10/28（水）	日銀政策委・金融政策決定会合(1日目 14:00～)	交付税借入 11,000億円 11/9借入			
10/29（木）	日銀政策委・金融政策決定会合(2日目 9:00～) 日銀総裁定例会見(15:30) 経済・物価情勢の展望 9月の商業動態統計速報(経済産業省 8:50) 10月の消費動向調査(内閣府 14:00)				ECB定例理事会(金融政策発表) 7-9月期の米GDP速報値
10/30（金）	9月の労働力調査(完全失業率 総務省 8:30) 9月の一般職業紹介状況(＝有効求人倍率 厚生労働省 8:30) 10月の都区部消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) 9月の鉱工業生産・出荷・在庫速報(経済産業省 8:50) 9月の住宅着工統計(国土交通省 14:00)	TB3M 75,500億円 11/2発行			9月の米個人所得・消費支出 10月のシカゴPM景況感指数 7-9月期のユーロ圏GDP1次速報 10月のユーロ圏消費者物価指数速報値

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
10/26（月）	0	▲ 45,500	▲ 45,500	CP買入 ETF買入 国債補完	▲ 100 500	 200 	600	▲ 44,900	TB3M発行▲75500償還59000 TB6M発行▲38000 新型コロナ関連の払い
10/27（火）	0	2,000	2,000				0	2,000	
10/28（水）	0	▲ 2,000	▲ 2,000				0	▲ 2,000	
10/29（木）	▲ 1,000	2,000	1,000	CP買入		6,000	6,000	7,000	
10/30（金）	▲ 500	▲ 1,900	▲ 2,400	国債売現先(米ドル)			0	▲ 2,400	
週 間 合 計	▲ 1,500	▲ 45,400	▲ 46,900	―	400	6,200	6,600	▲ 40,300	

10/26は日銀予想、10/27以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、引き続き調達ニーズが強く、高止まりの地合いが見込まれる。無担保コールO/N物は▲0.02～▲0.01%程度の出合いが中心になると予想される。レポ市場は、週末まで国債の発行にかかる取引がなく、オファー量の推移が注目される。短国市場は、30日に3M物の入札が実施予定となっている。レート水準を含め、市場動向が注目される。また、27日に予定されている短国買入オペのオファー額にも注目したい。CP市場は、27日にCP等買入オペが予定されている。新規発行が少ない中、業者の在庫処分ニーズがどの程度強いかに注目が集まる。

主要なイベントは、国内では28-29日に金融政策決定会合、海外では29日に7-9月期の米GDP速報値、ECB定例理事会、30日に7-9月期のユーロ圏GDP1次速報、10月のユーロ圏CPI速報値などが予定されている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社　登録金融機関関東財務局長（登金）第526号　日本証券業協会加入